



# にゅうようせ 乳幼セだより

R8.3 No.7

山口県  
乳幼児の育ちと学び支援センター  
☎083-933-4450  
✉a50908@pref.yamaguchi.lg.jp

## 1年間ありがとうございました!

今年度もお世話になりました。乳幼セでは、特別な配慮を必要とする子どもの保育研修会、乳児保育研修、保幼小連携研修会、保育者フェスタ等、たくさんの研修会を開催しました。開催のたびに多くの先生方にご参加いただき、ありがとうございました。乳幼セが設置されて5年目を終えようとしています。この5年の間に、幼児教育・保育・学校教育を取り巻く環境は変化してきました。来年度も、常に子どもたちと向き合ってくださいている先生方のニーズに寄り添えるよう、研修会での様子やアンケートを踏まえ、実技や対話、オンライン等、形態を工夫しながら、学びの実感を伴った研修を行っていきます。

アドバイザー等訪問においては、継続的なご依頼が増えています。終了後にいただくお言葉やアンケートはとても励みになり、よりよい訪問支援を考えることにつながっています。今後も、皆様からのお声をヒントに、お力になれるよう、乳幼セ一丸となって訪問支援に取り組んでいきます。

令和8年度も、多くの先生方とお会いできることを楽しみにしています。乳幼セへの変わらぬご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度  
アドバイザー等訪問  
アンケート結果 (1/31 現在)

ねらいが  
達成できた

役に立つ  
内容であった



## 「園内研修の手引き」を公開予定!

「園内研修とは?」「どうやって進めたらいいの?」等、先生方の疑問や悩みにお答えできるような、園内研修の手引きを作成中! 研修手法例や実践事例等もあり、先生方の要望に寄り添える手引きです。完成後は、乳幼セ Web ページに掲載しますので、ぜひ、ご活用ください!

園内研修全般のことやそれぞれの役割等について、分かりやすく示されています!

### 2 有意義な園内研修にするには?

#### (1) 園内研修のポイント

園内研修は、園内で実施するため、日々の保育の延長線上で行いやすいという特徴があります。実践に根ざした内容を扱うことで、職員一人ひとりの気付きや学びが深まり、チームとしての連携も強まります。

研修の効果を十分に引き出すには、目的の明確化や進め方の工夫が必要です。以下のポイントを意識し、柔軟に組み合わせることで、より有意義な研修が実現できます。

#### 1 目的とねらいを明確にする

「何のために研修を行うのか」を全員で共有します。園の課題に即した具体的なねらいを設定すると、参加者の心が揃い、保育の変容につながりやすくなります。

#### 2 参加型の内容にする

一方通行の講義ではなく、短いワークや少人数討議などを取り入れます。多様な経験を引き出す場をつくることで理解が深まり、実践につながります。

「もっと具体例を知りたい!」と思ったら、実践事例を参考に見ましよう。

#### 実践事例 1

テーマ

ちよこつと園内研修  
～お昼寝時間を利用して～

目的

子どもの情緒や保育について、毎日、職員間の共通理解を図り、自身の保育観を広げ、職員同士の風通しをよくする。

概要

【進め方】

○午後の時間に10～15分間、情報共有をする

○内容

① その日の子どもの姿を話す

その日の子どもの姿から話すことを基本とし、出来事や職員間の援助、思いなどを共有する。

\*保育カンファレンスシート(P.45参照)などの利用も考える

「園内研修をやってみたくけれど、準備をする時間がなかなか取れない!」そんな時には、巻末資料を活用することもできます。

#### 保育カンファレンスシート

キーワード  
・嬉しかったこと  
・困ったこと など

キーワード( )

月日(曜日)

場所

だれが

なにを

## 指導主事業務を振り返って

今年度から乳幼セで働き始めて、園や小学校の先生、行政の方等との様々な出会いがありました。皆様の様々な考えに触れ、幼児教育・保育、学校教育への学びが深まってきました。来年度も人との出会いを大切に、学び続けていきたいです。また、指導主事として皆様のお力になれるよう、研修運営や訪問支援に取り組んでいきたいです。

乳幼セの柳井です!



この2年間は、自分の保育観を見つめ直し、幼児教育・保育の奥深さを学ぶ機会になりました。現場にいた頃は日々の保育に手一杯で見ていなかった部分があったり実践だけが先走っていたりし、もどかしく思っていました。ですが、この2年間で「なぜ乳幼児期の教育・保育が大切なのか」理論的な部分も学ぶことができました!

乳幼セの西岡です!

